

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
1	一般	8	4	1	313質の高い既成市街地の整備	都市計画基本図改訂事業	都市計画課	○	○	①令和2年度策定予定の市総合基本計画、その後に策定される都市計画区域の整備、開発及び保全の方針、都市計画マスタープランの基礎となる都市計画基本図(白図)を委託により最新にする。 ②今回の都市計画基本図の改訂は完了したが、今後も、5年毎の都市計画基礎調査の実施の際など、機会を捉えて改訂を行い、最新の状態とすることが望ましい。	0	9,240	1終了	①目的達成により終了の評価となるが、都市計画のための基本図であり、まちの大きな変化等が生じた際は改訂が必要となることから、地域の状況に注視する。 ②最新の都市計画基本図に改定を行ったが、今後予定される都市計画基礎調査と併せた改訂など、改訂時期を検証する。	0
2	一般	8	4	1	313質の高い既成市街地の整備	都市計画事務に要する経費	都市計画課			①市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。 ②生産緑地地区の当初決定から30年経過に伴う新制度導入(R4)に向けた引き続きの取組みと、条例を制定し300㎡に引き下げた生産緑地地区の新たな指定手続きに取り組む。 市の将来像や具体の都市計画について、市民の関心が高まっており、市民意見を把握するとともに丁寧な情報開示に取り組む必要がある。	1,455	4,994	6精査・検証	①住民が都市の将来像と具体の都市計画を常に確認、理解する必要があり、都市計画における情報開示を促進するには必要不可欠であるため。 ②生産緑地地区の土地所有者に対し引き続きの情報周知や意向確認を図りながら、必要な指定等手続きを進める。また、市民サービスや窓口サービスの向上に資するため整備した都市計画概要図の窓口での検索や印刷販売を開始する。	7,937
3	一般	8	4	1	313質の高い既成市街地の整備	開発指導事務に要する経費	都市計画課			①土地の造成を行う開発行為において、新設道路や排水施設などの公共施設整備の技術基準を満たし、良好な宅地開発が施工されるよう誘導を図る。 ②開発行為施工中の苦情や中高層建築に伴う要望など、近隣住民への対応を円滑に行い、良好な宅地開発が施工されるよう誘導する。	2,255	2,276	6精査・検証	①公共施設の整備に伴う技術基準を満たすだけでなく、ゆとりのある施設規模、景観にも優れた市街地整備を進めていくため、業務の改善と事務の円滑化を図る。 ②鎌ヶ谷市宅地開発指導要綱の精査及び条例化も視野に入れた調査研究を行っていく。	2,801
4	一般	8	4	1	314鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり	景観形成事務に要する経費	都市計画課			①鎌ヶ谷市景観条例に基づき、重点地区の届出制度及び景観審議会、景観アドバイザーなどの専門家意見の活用、市民と事業者等の理解と協力によって、望ましい景観の確保と誘導を図るもの。 ②良好な都市景観の形成を図るため、市民と事業者等の理解や協力が得られるよう、地区の特性に合わせた景観形成内容の周知について取組む必要がある。	41	34	6精査・検証	①景観行政を進めていく上で第三者的な立場の専門家意見を活用するため景観審議会及び景観アドバイザーは必要不可欠であるため。 ②景観審議会に付し改正した景観届出様式や景観形成内容について、市民や事業者等のより一層の理解促進を図るため、景観の日やイベント等を活用した周知の取り組みを検討する。	71
5	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	公共交通機関の整備促進に要する経費	都市計画課			①成田空港機能の充実を図り、東京都心と成田空港とのアクセスを改善し空港利用者の利便性を確保するとともに、千葉県北西部等の交通利便性を向上させるため補助等を行うもの。 ②成田新高速鉄道事業に係る補助金交付要領等に基づく事務処理(補助金返還・納付)を適正に実施する必要がある。	—	146	6精査・検証	①補助金交付要領等に基づき適正に事務処理を行っており、令和2年度も引き続き同様の業務に取り組む必要があるため。 ②令和2年度においても同様の課題に対する事務処理が見込まれたため、令和2年当初予算に予定額を計上し対応した。	582

6	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	<p>①市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。</p> <p>②運行ルート、バス停留所の改善要望や高齢者等の移動確保等、コミュニティバス利用者の利便性と持続可能な運行について検討する必要がある。</p>	47,000	48,410	6精査・検証	<p>①高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠であるため。</p> <p>②コミュニティバス運営検討委員会の提言を踏まえた新たな運行計画を作成し、コミュニティバスの継続運行を行う。</p>	48,134
7	一般	8	4	2	311広域交流拠点の整備	新鎌ヶ谷地区広域交流拠点形成推進に要する経費	都市計画課			<p>①新鎌ヶ谷地区において、更なる広域交流拠点機能の集積や地区の賑わいづくりのため、地域の活性化やコミュニティの形成を推進する。</p> <p>②地区の現状や、まちづくり活動に対する企業や地域住民の意識が把握できてきた中で、今後ご理解・ご協力を得られるよう、シティプロモーション事業等、市内部における他事業との調整を図る必要がある。</p>	22,334	23,383	6精査・検証	<p>①魅力ある地域づくりに、地域住民の力は不可欠であり、住民の意識醸成に合わせた施策展開が必要となるため。また、地区周辺のまちづくりも検討していく必要があるため。</p> <p>②地域住民のまちづくり活動に対する意識醸成を見据えつつ、住民からの提案等の機会を捉えながら、対応を検討する。</p>	26,321
8	一般	8	4	2	311広域交流拠点の整備	市街地整備に要する経費	都市計画課			<p>①まちづくり室の各業務に必要な経費の支出。</p> <p>②適正な予算計上及び支出のために、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。</p>	2,264	2,767	6精査・検証	<p>①効果とコスト削減に配慮しつつ、継続していく必要があるため。</p> <p>②職員の知識向上や、地域との連携に配慮しつつ、より効果的な手法の検討をする。</p>	3,493
9	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	近隣商業拠点整備に要する経費	都市計画課			<p>①近隣商業拠点の整備に必要な経費の支出</p> <p>②近隣商業拠点の整備に関する適正な予算計上や支出のため、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。</p>	1,430	1,417	6精査・検証	<p>①効果とコスト削減に配慮しつつ、継続していく必要があるため。</p> <p>②近隣商業拠点の整備に関する経費の適正な予算計上を検討する。</p>	1,405
10	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	都市軸形成促進事業	都市計画課	○	○	<p>①都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。</p> <p>②初富駅周辺整備事業は、用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。</p>	49,518	37,543	7拡充	<p>①初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また市の都市基盤としての整備、通学路の安全性を高める側面から推進する必要があるため。</p> <p>②国の交付金を活用し、事業を推進する。なお、推進にあたっては、地権者の協力と、関係機関との調整が必要である。</p>	32,612

11	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	近隣商業拠点整備事業	都市計画課	○	○	<p>①近隣商業拠点の一つである北初富駅周辺地区において、市民の日常生活に身近な商業等のサービス機能の充実を目指し、駅前広場等の整備に向け事業を推進している。</p> <p>②北初富駅前広場の整備に向けて、関係機関との協議や関係地権者との交渉を引き続き行い、検討をしていく必要がある。</p>	0	1,958	7拡充	<p>①北初富駅前広場の整備について、新京成線連続立体交差事業による高架運行が開始されたことから、整備に向け更なる推進が必要となるため。</p> <p>②北初富駅前広場の整備に関し、関係機関との協議を継続し、整備方針を決定する。また、駅前広場に係る測量及び設計の実施や用地の取得に向けた関係地権者との交渉を継続する。</p>	3,600
----	----	---	---	---	-----------------	------------	-------	---	---	--	---	-------	-----	--	-------